

平成 30 年度 伊賀市地域包括支援センター事業実績

1) 総合相談支援事業

福祉の一次相談窓口として多様な相談を受けるとともに、関係機関と連携しながら、より詳細な情報収集を行い、必要な支援を行いました。支援の困難なケース等については、地域ケア会議や相談事案調整会議等の開催により関係機関との情報共有や具体的な支援の方法について検討しました。

●総合相談支援件数

	延件数	実件数	主な相談内容（延件数）						*重複あり		
			介護 保険サ ービス	高 齢 者 福 祉サ ービス	経 済 的 問 題	医療	住居	障が い	虐 待 (疑い 含む)	認 知 症	権利 擁護
中部	5,146	780	2,029	335	1,022	1,184	395	82	407	187	371
東部	1,241	246	293	227	300	179	137	8	38	22	41
南部	1,031	231	285	128	152	224	95	72	72	142	48
計	7,418	1,257	2,607	690	1,474	1,587	627	162	517	351	460
29 年度	6,790	926	2,248	482	1,069	1,058	329	129	773	275	542

2) 権利擁護事業

権利侵害の対象になりやすい高齢者に対し、権利侵害の予防や対応、本人が自分の意思を主張し権利行使ができるように支援を行いました。必要な福祉サービスや日常的な金銭管理について、適切に判断することに不安のある認知症高齢者が増加しています。成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用に繋げることで権利擁護に努めました。

また高齢者虐待の通報を受けた時は、速やかに事実の確認を行い、虐待検討委員会に諮ったうえで、虐待解消に向けて支援を行いました。

〔養護者による高齢者虐待〕

●通報件数と通報者の続柄（H28～H30年度）

年度	虐待通報 受理件数	通報者の内訳（重複あり）								
		本人	家族 親族	ケア マネ	サ-ビス事 業所	医療 機関	民生児 童委員	警察	行政 機関	その 他
H28	20	0	1	10	1	1	0	4	2	0
H29	17	1	0	9	1	3	0	3	0	0
H30	30	4	2	9	4	0	0	7	2	2

●虐待認定件数と虐待の種別（H28～H30 年度）

年度	虐待認定 件数	虐待の種別				
		身体的虐待	介護放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待
H28	18	13	4	6	0	1
H29	14	10	8	10	0	8
H30	21	14	3	10	0	10

●被虐待者の性別（H28～H30 年度）

年度	被虐待者 人数	性別	
		男	女
H28	18	5	13
H29	15	2	13
H30	22	6	16

*H29 と H30 は、発生件数のうち 1 件に複数の被虐待者が存在した。

●虐待者の属性（H28～H30 年度）

年度	虐待認定 件数	虐待者の属性								
		夫	妻	息子	娘	息子の 配偶者	娘の 配偶者	兄弟 姉妹	孫	その他
H28	18	4	0	8	6	0	0	1	0	1
H29	14	0	0	10	3	2	0	1	1	1
H30	21	2	2	8	4	5	0	1	2	1

●被虐待者に対する対応（H28～H30 年度）

年度	被虐待者 人数	分離の有無	
		分離	分離せず
H28	18	9	9
H29	15	9	6
H30	22	10	12

〔養介護施設従事者等による高齢者虐待〕

●通報受理件数と虐待認定件数、通報者の内訳（H28～H30 年度）

年度	虐待通報 件数	通報者の内訳					
		本人・家族	当該施設職 員	医療機関	ケアマネ	介護相談員	不明
H28	3	0	2	1	0	0	0
H29	7	0	5	1	1	0	0
H30	2	0	0	0	0	1	1

●虐待認定件数と虐待の種別（H28～H30 年度）

年度	虐待認定 件数	虐待の種別				
		身体的虐待	介護放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待
H28	1	1	1	1	0	0
H29	3	3	2	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	0

●虐待検討委員会開催回数（H28～H30 年度）

年度	開催回数
H28	73
H29	74
H30	71

3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の様々な社会資源と連携し、途切れなく高齢者の生活支援が提供されるように努めました。また、地域のケアマネジャーが抱える支援困難事例の相談・助言やケアマネジメント実践のスキルアップのための研修会等を開催しました。

●ケアマネジャーを対象とした研修会の開催

開催日	内容	出席者数
7月25日	「災害への備えについて」 伊賀市総合危機管理課	29人
11月14日	「事業所内での事例検討会の方法について」 地域包括支援センター調整係 「地域福祉コーディネーターの役割について」 伊賀市社会福祉協議会	70人
3月19日	「障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行について」 伊賀市障がい福祉課、障がい者相談支援センター	58人

●ケアマネジャーを対象とした事例検討会の開催

	開催日（2時間）	出席者数
第1回	4月11日	13人
第2回	6月13日	14人
第3回	8月15日	11人
第4回	10月17日	14人
第5回	12月12日	11人
第6回	2月13日	14人

4) 介護予防ケアマネジメント事業・介護予防支援事業

要支援認定者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者を対象に、ケアマネジャーによる介護予防支援プランの作成を行いました。サービスの利用により ADL の維持向上を図るとともに、住み慣れた自宅で自立した生活が送れるように支援をしました。月平均 264 件の介護予防プラン作成を居宅介護支援事業所に委託しました。

●介護予防ケアマネジメント、介護予防支援実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
介護予防ケアマネジメント	327	337	341	336	340	350	355
介護予防支援	350	348	361	363	357	369	373

	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防ケアマネジメント	355	354	355	353	359	4,162
介護予防支援	375	373	386	383	390	4,428

5) 地域ケア会議等

支援の困難な事案や、課題解決のために多職種や多機関の連携が必要な事例が増加しています。地域ケア会議では、支援の困難な事例の課題を明らかにし、支援の方針や支援者の役割について検討をしました。会議の開催により支援者間の連携が進み、被支援者の権利擁護、自立支援に役立ちました。相談事案調整会議は、事例に関わる市役所内の各課の出席を基本としており、情報共有や

支援の方針について話し合いの機会を持ちました。

●地域ケア会議、相談事案調整会議等の開催回数

地域ケア会議	地域ケア会議担当者会議	相談事案調整会議
33回	4回	25回

6) 一般介護予防事業

介護予防に関する知識の普及啓発のため、保健師による介護予防出前講座、アンチロコモ教室等を実施しました。また、住民主体の介護予防活動の育成・支援を目的に、介護予防リーダーの養成を行いました。介護予防リーダー養成講座は、13回の連続講座となっており、修了生には各地域で介護予防に取り組んでいただきました。また年に5回、修了者のためのフォローアップ教室を開催し、リーダーとしてのモチベーションの維持に努めました。

●介護予防出前講座等

	内 容	回数	受講人数
介護予防出前講座	老人クラブや地域の養成により、介護予防に資するテーマで講座を実施した。	58回	950
アンチロコモ教室	介護予防に資する運動を中心に、口腔機能の向上・低栄養の予防を取り入れた講座を開催した。	12回	528

●介護予防リーダー養成講座

回数	受講実人員	講座修了者数
13回	19人	17人

●介護予防リーダーフォローアップ教室

回数	参加延人数
5回	145人

●平成30年度末 介護予防自主グループ数

上野地区	島ヶ原地区	伊賀地区	阿山地区	大山田地区	青山地区
14	0	3	2	6	6

7) 認知症総合支援事業

認知症になっても安心して住み慣れた自宅で生活することができるように、新オレンジプランの7つの柱に沿って、施策に取り組みました。

① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

●認知症サポーター養成講座、認知症ジュニアサポーター養成講座

対 象	開催回数	受講者数
小学生（新居小、依那古小、府中小、島ヶ原小、阿山小）	5回	143人
高校生（伊賀白鳳高校）	1回	15人
職域（東京海上日動火災保険、マックスバリュ、ゆめが丘鶴寿園、行政）	6回	155人
一般住民	10回	411人

●キャラバンメイト連絡会

活動日	内 容	出席人数
7月5日	養成講座の寸劇や講義内容の検討	5人
7月24日	寸劇や講義の練習、次回養成講座について	7人
11月1日	養成講座の寸劇や講義内容の検討 学習会「キャラバンメイト活動に役立つ認知症の話」	11人
11月28日	寸劇や講義の練習、次回養成講座について	6人
2月7日	今後の活動について 養成講座の寸劇や講義内容の検討	7人
2月23日	今後の活動について、寸劇や講義の練習	7人

●認知症街頭啓発

アピタ伊賀上野店(アルツハイマー月間)	9月11日(火) 14:00~15:30
プラント伊賀店	2月23日(土) 11:00~12:00

②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護サービスの提供

●認知症初期集中支援チームの活動

認知症発症早期に適切な医療や介護サービスにつなげ、認知症の進行を遅らせ、住み慣れた自宅であるべく長く、その人らしく生活できるように支援しました。（チームは地域包括支援センター内に設置）

実 支 援 人 数 (人)	支 援 方 法 (延件数)					チ ャ ーム 員 会 議 開 催 回 数 (回)
	来 所	訪 問	電 話	文 書	そ の 他	
23	28	123	265	7	9	12

●物忘れ相談プログラムを使用した早期発見

実施回数	実施場所	相談者数	うち要フォロー者数
7回	ハイトピア伊賀	48人	2人

③認知症の人の介護者への支援

●認知症の人と家族の会つどい

偶数月は伊賀市、奇数月は名張市で計12回開催。認知症の人とその家族が情報交換を行ったり、お互いの気持ちを聴き合う場としました。

開催場所	開催回数	参加人数
伊賀市（ゆめぼりすセンター）	6回	39人
名張市（武道交流館いきいき）	6回	55人

●認知症カフェ

認知症を理解するために、誰もが気軽に集まり、交流できる場を月1回開催しました。

開催場所	開催回数	参加人数
いがオレンジカフェ（シルバーケア豊壽園）	12回	74人

④認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

●認知症講演会&座談会

認知症当事者であるご夫婦2組とその支援者をお迎えし、当事者とその家族からその思いや考えを聞くとともに、座談会を通して、認知症の人がどのような地域であれば安心して過ごすことができるのかを考える機会としました。

日程	場所	内容	参加人数
3月17日(日) 13:30~15:00	サンピア伊賀	・講演会 『認知症になった私からのメッセージ』 (若年性認知症) ・座談会	92人

●認知症声掛け見守り訓練

認知症の高齢者役の人に、参加者が実際に声掛けを行い、どのように見守り声掛けをすれば、安心してもらえるか、安全に誘導ができるかを体験していただきました。

日程	場所	内容	参加人数
11月23日(金・祝) 10:00~12:00	久米地区市民センター 及び 木興町内	・講義 ・声掛け訓練 ①ゴミ出し場面、②道で迷っている場面 ・グループワーク	17人

令和元年度 伊賀市地域包括支援センターの取り組み

1) 介護予防・生活支援サービス事業の利用状況の調査

平成 28 年 10 月から、要支援者の通所介護、訪問介護サービスが「介護予防・日常生活支援総合支援事業」に移行されました。それまでの予防給付と同等の「現行サービス」又は、「緩和した基準によるサービス」に、ケアマネジャーによるアセスメントによりサービス内容が分かれています。

介護サービス事業所の提供する「介護予防・日常生活支援総合支援事業」は、年々サービス提供事業所数や提供サービス量が減少しており、希望するサービスを利用することができない状況も起こっています。

地域包括支援センター又は居宅介護支援事業所で担当している、「介護予防・日常生活支援総合支援事業」の利用者の介護予防プランをチェックし、通所介護及び訪問介護におけるサービス内容を調査します。住民自治協議会毎にサービス内容を集計し、地域福祉コーディネーターとその内容を協議し、地域での通いの場や生活支援サービスを創設するための資料とします。

2) 介護予防・生きがいづくりを目的とした通いの場の創設

介護予防や生きがいづくりを目的とした通いの場を、今後更に増やしていく必要があります。地域にはいきいきサロンをはじめとする、様々な通いの場がつくられてきています。しかしその多くが、月 1~2 回の開催頻度となっており、介護予防を効果的に進めていくためには、週 1 回程度の開催が望まれます。

キャラバンメイト登録者や介護予防リーダー養成講座の修了者を活用し、通いの場の創設を検討します。